

2017年2月16日
アバナード株式会社

『Avanade Technology Vision 2017』
企業は時代に取り残されないよう、AIへの取り組みを直ちに開始すべきと提言
レポートは、AI導入に伴う倫理的影響への対応の必要性を指摘

革新的なデジタルサービスおよびクラウドサービス、ビジネスソリューション、デザイン主導のエクスペリエンスを提供するリーディングプロバイダであるアバナード(Avanade Inc.)は、新たに発表したレポートの中で、企業はAIファーストの世界に対応できるよう、戦略や技術を積極的に取り入れて学ぶ必要があると指摘しています。

アバナードがこの度リリースしたレポート、『Avanade Technology Vision 2017』は、今後3年間で起こりうる新たなトレンドを予測するもので、今、企業が人工知能(AI)とオートメーションによって引き起こされるデジタル時代の創造的破壊のスタート地点にいることを明らかにしました。同レポートは、1990年代にPCの登場によって引き起こされた革命同様、AIファースト時代の誕生は企業に大きな機会とさまざまな能力をもたらしますが、それに向けて直ちに变革を行わないとならないと述べています。

また、同レポートでは、AIファースト時代の到来は、企業が顧客や従業員と対話し、サービスを提供、力を与えるための新しい方法をすでに生み出しつつあることを強調しています。たとえば、企業はAIを用いて、インテリジェントな自動化、ロボットによるプロセス自動化(RPA)、物理的自動化などによって従業員の能力を強化し、インテリジェンス主導型の作業とそれによって得られた成果を活用することで、これまでよりもはるかに多くのことを短期間で達成できるようになります。

加えて、クラウド、ビッグデータ、モバイルのコンバージェンスが進むにつれて、個々の顧客や従業員のみならず、彼らの一人一人の置かれた状況に応じた「状況ごとの中心性」が生み出されることで、AI駆動型のユーザーインターフェイスが、かつてないほど深く、意味のあるやり取りを可能にする予測しています。

またレポートでは、全てのデジタル活動は等しく、意図しない結果をもたらす可能性を潜在的に秘めている為、企業の責任ある行動とデジタル論理を取り入れることの必要性を強調しています。AIの台頭は私たちの生活様式、働き方、世界を理解する方法を根底から変えること、そして「すべてをデジタル化する」ということは、新たな次元の企業責任が問われることにもなると指摘しています。

アバナードの最高技術革新責任者(CTIO)クリス・ミラーは次のように述べています。「AIはデジタルのカスタマー・エクスペリエンスを再構築するだけでなく、企業が従業員にもたらす最も重要な技術になると考えられます。単純な反復型のタスクをより多く自動化していくことで、従業員が使える時間が増え、判断能力が向上するため、彼らと企業の双方にとって重要度の高い業務に注力できるようになります。」

本レポートには、新しいAIファースト時代に企業が生き残り、成功するために実行できる5つの行動が示されています。

1. **AIを新しいエクスペリエンス・レイヤーに取り込む**: 顧客は単にアプリやインターネット上に存在するだけではありません。彼らは、音声、複合現実、触覚などの多彩なエクスペリエンスのほか、AIベースのアシスタントや目に見えないユーザーインターフェイスが提供されることを期待するでしょう。
2. **従業員の強化**: 職場の生産性を改革したことで得られたメリットは頭打ちになりましたが、AIによって組織は新たな次元の効率性と有効性を実現することができるようでしょう。AIで強化された従業員は、組織が新しい世代の働き手を惹き付け、維持する上でもメリットになるでしょう。
3. **プラットフォーム・エコノミーへの対応**: 企業はターゲットとする顧客に到達するために、AIが駆動するボーダーレスなプラットフォームを自社の業界、そしてその他の業界にも構築し参入する準備を整えていかなければなりません。

4. **DesignOps のアプローチをあらゆる面で採用**: 企業が完全にユーザー中心の組織としてデジタル・トランスフォーメーションを実現するためには、デザインの思考と最新鋭のエンジニアリング原則を融合させることが求められます。企業は今まさに、誰もがユーザーと価値に注力する DesignOps 革命に対応した文化、マインドセット、ビジネスモデルの構築を始めなければなりません。
5. **責任ある行動と、二次的影響への備え**: AI の台頭は、私たちの生活様式、働き方、世界を理解する方法を根底から変えようとしています。企業は、データセキュリティ、信頼性、プライバシーなどの問題に対処するデジタル倫理の枠組みを開発し、データの入手・使用方法に関するガイドラインを提供する必要があります。

先述のミラーは、さらに次のように述べています。「人工知能は現実のものとなっています。AI を活用しようとする動き出している企業は、イノベーション、生産性、成長を新たな次元にまで引き上げるとともに、職場におけるエンゲージメントと従業員の満足度を向上させることも可能になるでしょう。

『Avanade Technology Vision 2017』の詳細については、[こちら](#)をご覧ください

アバナードについて

アバナードは、優れた人材とマイクロソフトのエコシステムにより、革新的なデジタルサービスおよびクラウドサービス、ビジネスソリューション、デザイン主導のエクスペリエンスを提供するリーディングプロバイダです。アバナードのプロフェッショナルは、テクノロジー、ビジネス、業界に関する専門知識を組み合わせ、当社顧客とそのエンドユーザーが求める成果を挙げるためのソリューションを構築・展開します。世界 23 カ国にデジタルでつながった 29,000 人の従業員を擁し、多様性と事業を展開する地域の社会を尊重するコラボレーティブな企業文化の下、お客様に最善のソリューションを提供しています。アバナードは、2000 年に米国アクセンチュアおよび米国マイクロソフトにより設立され、アクセンチュアが筆頭株主を務めています。詳細は、[アバナードのウェブサイト](#)をご覧ください。

Avanade および Avanade のロゴは、Avanade Inc.の登録商標です。その他のブランド名および製品名は、各所有者に帰属します。

※この資料は Avanade Inc.が 2017 年 2 月 7 日に米国シアトルで発行したプレスリリースの抄訳です。

<本件に関する報道関係者お問い合わせ先>
アバナード株式会社広報事務局（株式会社トークス）
担当: 坂本 / 加藤
電話: 03-3261-7715 / FAX: 03-3261-7174
Mail: avanade-info@pr-tocs.co.jp